

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：出屋敷橋）整備事業							
補助事業者名	築上町長							
実施場所	築上町大字上り松							
補助事業の成果の目標	出屋敷橋は、町道上り松6号線上で、普通河川上り松川に架かっており、地域の生活道路橋である。 橋梁点検の結果、橋脚として使用している石柱がずれ、危険な状況であることが確認された。 このため、橋梁の函渠工事を行い、利用者の安全性の確保と耐久性の向上を図る。							
補助事業の内容	函渠工 L=5.826m							
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度							
事業費及び交付金額		28年度	元年度					計
	事業費	円 7,100,000	円 25,680,000	円	円	円	円	円 32,780,000
	交付金額	7,000,000	25,000,000					32,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	函渠工事を行ったことにより、利用者の安全性の確保と耐久性の向上を図ることができた。また、地元通行者等に聞き取り調査を行ったところ、「車の走行がしやすくなった。」との意見であり、事業の効果が確認できた。 工事看板及び地元自治会長を通じて、地域住民へのお知らせに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることの周知を行った。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：高塚82、83号線）整備事業							
補助事業者名	築上町長							
実施場所	築上町大字高塚							
補助事業の成果の目標	町道高塚82、83号線は西高塚地区の生活道路であるが、幅員が狭く車輛の離合が困難なため、通行に支障をきたしている。 このため、道路の拡幅を行い、交通の安全性及び利便性の向上を図る。							
補助事業の内容	道路改良舗装 延長L=535.4m							
補助事業の始期及び終期	平成24年度～令和元年度							
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	元年度	計
	事業費	円 6,850,000	円 1,900,000	円 20,100,000	円 24,350,000	円 15,100,000	円 7,500,000	円 75,800,000
	交付金額	6,800,000	1,850,000	19,900,000	23,200,000	14,700,000	6,500,000	72,950,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	道路改良舗装工事を行ったことにより、幅員が広くなり交通の安全性、利便性を確保することができた。また、地元通行者等に聞き取り調査を行ったところ、「車の離合が容易になり、安全に走行できるようになった。」との意見であり、事業の効果が確認できた。 工事看板及び地元自治会長を通じて、地域住民へのお知らせに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることの周知を行った。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：椎田46号線）整備事業						
補助事業者名	築上町長						
実施場所	築上町大字椎田						
補助事業の成果の目標	町道椎田46号線は、椎田地区の生活道路であるが、幅員が狭く、車両の通行に支障をきたしている。 このため、道路整備を行い、交通の安全性及び利便性の向上を図る。						
補助事業の内容	道路改良舗装 延長L=266.0m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	元年度	計
	事業費	円 7,000,000	円 13,330,000	円 11,200,000	円 18,300,000	円 18,300,000	円 68,130,000
	交付金額	7,000,000	13,300,000	10,600,000	17,670,000	16,400,000	64,970,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	道路改良舗装工事を行ったことにより、幅員が広くなり轍掘れ等も解消され交通の安全性を確保することができた。また、地元通行者等に聞き取り調査を行ったところ、「轍掘れ等も無くなり舗装されたので、車が走行しやすくなった。」との意見であり、事業の効果が確認できた。 工事看板及び地元自治会長を通じて、地域住民へのお知らせに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることの周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（交通施設：椎田駅北口駐輪場）整備事業						
補助事業者名	築上町長						
実施場所	築上町大字椎田978-7						
補助事業の成果の目標	<p>現在、JR椎田駅の駐輪場については、町で整備した104台分の駐輪場では納まりきらず通路にあふれており、駐輪場敷地も広げられない状況である。</p> <p>今回、場所を移し自転車160台・原動機付自転車6台分で新たに整備することで混雑を解消し、地域住民の利便性の向上を図ることを目標とする。</p>						
補助事業の内容	駐輪場整備 延長A=574.80m ²						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 25,534,300	円	円	円	円	円 25,534,300
	交付金額	25,000,000					25,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>駐輪場を新設したことにより、収容台数が104台から166台（うちバイク6台）に拡充され、それまで駐輪場からあふれた数十台の自転車で通路が塞がれる事案が完全に解消された。また、従来よりも自転車1台分の停車幅を大きくしたことにより、スムーズな自転車の出し入れが可能となったなど、利便性が向上した旨の報告を多くいただいている。</p> <p>また、『この駐輪場は、防衛省からの「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用し整備を行いました。』と表示した看板を駐輪場敷地内に設置し、地域住民への周知を図っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：ホイールローダ）整備事業						
補助事業者名	築上町長						
実施場所	築上町大字築城1784番地						
補助事業の成果の目標	<p>築上町清掃センターでは、町内及び築城基地から搬出されるゴミを安定的かつ継続的に処理している。現在、同センターで処理困難物搬出時の積込作業で利用しているホイールローダは初年度登録から22年が経過しており、部品の供給年限も過ぎていることから故障が発生した際の修理が困難な状況にある。</p> <p>今回車両の更新をすることで上記の問題を解消し、安定的なごみ処理を図ることを目標とする。</p>						
補助事業の内容	ホイールローダ 1台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 10,989,000	円	円	円	円	円 10,989,000
	交付金額	10,989,000					10,989,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当該車両を配備した清掃センターの職員へ聞き取り調査を行った結果、「重機が更新されたことで、ごみ処理の効率が良くなった」等の意見が得られたことから、これまでの清掃活動時の不具合が解消され、安定的にごみ処理ができていることを確認した。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨の記事を町HPへ掲載し町民へ周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連公共用施設 (消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車) 整備事業						
補助事業者名	築上町長						
実施場所	築上町大字西八田148番地1 築上町大字下別府1425番地2						
補助事業の成果の目標	<p>築上町消防団第2分団第3部、第5分団第2部は、本町の主要道路に面しているため、機動力の向上を図り迅速な災害活動が行えている。</p> <p>今回、更新を計画している消防車両については、配備から約25年が経過し、車両や小型動力ポンプの経年劣化により操作性が低下しており、ブレーキ・ステアリング等の故障時には部品調達も困難な状況である。</p> <p>小型動力ポンプ付積載車の更新を行うことで、操作性の向上や迅速な消火活動を行うことができ、消防団の機動力の充実強化及び資機材の操作性の向上及び現在の台数の維持を図ることを目標とする。</p>						
補助事業の内容	小型動力ポンプ付積載車 2台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 18,524,000	円	円	円	円	円 18,524,000
	交付金額	18,524,000					18,524,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当該車両を配備した消防団へ聞き取り調査を行った結果、一定の評価が得られ、これまでの消防活動への不具合が解消され、機動性、操作性が改善できたことを確認した。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を車両に記載するとともに、町広報誌に掲載を行い、地域住民へ周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連特定事業（環境衛生に関する事業：災害廃棄物処理計画策定業務委託）						
補助事業者名	築上町長						
実施場所	築上町大字築城1096番地						
補助事業の成果の目標	災害発生時には行政自体も被害を受け、平時よりも対応困難な状況の中でありながら、災害廃棄物の処理業務にも当たらなければならない。そこで平時において、災害発生後どのように災害廃棄物処理を実施するか、事前に検討しておくことが必要となる。今回、災害廃棄物処理計画を策定することで、災害発生時に適切に対応し、災害ごみをスムーズに処理して町民の早期生活再建に資することを目標とする。						
補助事業の内容	災害廃棄物処理計画の策定 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 3,821,400	円	円	円	円	円 3,821,400
	交付金額	3,821,000					3,821,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	課長会議にて検証を行い、関係職員からも「災害ゴミの迅速な処理に貢献できるだろう」との評価を得た。よって、町民の災害発生直後の早期生活再建に資することができるものと考ええる。 町HPにて、防衛省からの「特定防衛施設周辺整備調整交付金」であることを記載し、概要版を配布することで地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	築城飛行場関連特定事業(環境衛生に関する事業：築上町環境施設基金事業)								
補助事業者名	築上町長								
実施場所	築上町大字築城1784								
補助事業の成果の目標	<p>築上町では町内の環境保全及び向上を目的として、町内で排出される一般廃棄物を適切に処理できるよう、ごみ固形燃料化施設及びリサイクル施設を整備している。しかし、15年を経過した施設の施設修繕費大幅な増加が見込まれる。</p> <p>このため、築上町環境施設基金により、施設の維持運営費を負担するとともに、保守点検及び修繕委託業務等により施設予防保全に日々努め、安定的に施設を運用し廃棄物を処理することを目標とする。</p>								
補助事業の内容	ごみ処理施設の維持管理事業								
補助事業の始期及び終期	平成24年度～令和5年度								
事業費及び交付金額		26年度まで	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	計	
	事業費	円 213,230,257	円 148,520,666	円 159,851,955	円 181,395,069	円 121,987,759	円 136,229,240	円 961,214,946	
	基金造成額	交付金額	388,356,000	33,374,000	13,796,000	81,184,000	158,204,000	182,866,000	857,780,000
		市町村費等	0						0
		運用益	446,497	620,925	520,584	229,617	17,803	282,424	2,117,850
		計	388,802,497	33,994,925	14,316,584	81,413,617	158,221,803	183,148,424	859,897,850
	基金処分額	100,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000	110,000,000	530,000,000	
基金残額	288,802,497	242,797,422	177,114,006	178,527,623	256,749,426	329,897,850			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>令和元年度の施設運営記録を確認したところ、故障による長期の運用停止はなく、安定的に施設を運用し搬入廃棄物を処理することができている。</p> <p>また、周知については、施設見学に来場された方に配布する当施設の状況等がわかる資料内及び町ホームページへ調整交付金を活用していることを記載している。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。